

(昭和60年7月30日第三種郵便物認可)平成23年8月1日(毎月1日発行)第411号

平遠山川流

川底には、いくつもの変わった穴が開いて
國六(おやぢ)の秘密
で竹を切り、滝の清掃
見違える様にきれい
滝 真の平らなだけの

はわからぬが、空飛ぶ蜂ではなく、川の魚である。正式名称はマダラギ科「ギベチ」。なんと云つても危険な魚で触つて刺されてしまつて死んでしまう。王八のところどころのよつたものを持つ。(刺された記憶はあるがその後どうなつたかは記憶しない)海水魚で親戚のよつた魚を思い出した。「ハオコゼ」である。岩の下の手を突き込んだり、魚を取ろうとしたり、とんびりいる。川の

平成23年
夏号

發行 市原商工会議所
加茂里山通信編集部
発行責任者・編集長
征矢 貢造

地元では、「れき」「レッカ」と呼んでいた。中には、小魚らが棲んでいた。昨年は杉の葉など、中の中に洗め、手を擦る仕掛けをセメントしてあつたりした。今の時期は小魚がどんよりの中に入り込んで、感動するところはない。

の日頃の作業は、月一回程度の集会(上庄駿谷農村公社)の草刈および里山の清掃活動がメインとなっている。これは楽しみにもなっている。

都会の方々が憩い描く清掃は一風変わっている。作業は八時から行われる。草刈を行つ人、昼食の準備

それがでした。かつての暗い姿と車も入らなかつた不運さがなくなり、明るくと活気ある町会になりました。
それは昭和六〇年を境とした大変な年でした。



上古敷谷にはまだまだ知られていない場所がある。そのひとつに平滝と言われている所がある。古敷谷川は高瀬ダムに注ぎ込む川のひとつ。古敷谷川の上流には月出から流れ込む西川があり、小さな小川のやさしい川なのに変わった造形物を作り、岩壁が露出している川。

上古敷食堂山の奈良平滝の済野とこよとと思ったのは、二年前の二〇〇九年七月、市原市古敷谷の江添にある巣彫りのトンネルの先より川に下りる。砂防堤を左に見て、下流に歩く。深みの無い、緩やかな流れの川。丸い岩のゴロゴロしている場所があつたり、砂場だけの場所だつたりと、本当に何の変哲も無い川。平滝は何人の介入も

水流により浸食された窓穴（まくけ）と呼ばれ穴あきである。
どんな風に作られたのだろうかと考えると時間がい
くらあっても足りない。大きさは様々。大人がすっぽり
入ってしまうほどの大きいものから、今から形になるだ
ろうと思われるほどのものまで、多種多様である。
窓穴のある所で水の流れを見ていると、どのよつこ
の形が造られてきたのが想像できただろう。小さなく
ぼみに川の水が流れ込み、中で砂や小石が動き回って滑
らかな壁面が形成されて大きくなり深くなる。

加茂支店第1号か？

木夕祭りの開催

六月五日から一二日まで、吉敷谷の里山でホタル祭りが開催された。今回も富山小学校の児童会員で作った行燈が訪問者の足元を優しく照らした。歴代の児童会作つた行燈も全て灯された。一〇〇個近くの行燈が道の両方に灯された。子供たちの作る灯も年と共に変わってきた。材料が最初は竹だったがそれがビニールの田字形の入れ物に変わり、今ではアクリル素材の物になっている。少しずつ進化している。

ホタル祭りの期間は一年間の上吉敷谷里山の会の活動の成果を一般の方々に見て頂く期間でもある。メンバー

敷設しないといい状態。気温が上がり、一〇度を下回る草むらの中で光るホタル。変化を見えたのはホタル祭前夜祭頃から。七時半すぎ頃からチラホラと光り始めと歓声が立った。その後いつせいに光出した。例年より少ないが事実、事じへうとしただつた。

日頃は數人の人間とイノシシの足音しかしないのに、太勢の足音にホタルもさかしひくらした。二二二二明るい光をもひくらした」といたる。「これからまた畢山の年の一年が始まり、ホタル達の一年が始ま

牛久方面に向かい、霧降草原三十メートル程の山上にあるのが先に述べた「山主大権現」です。県道から山名石界がありその鳥居が見えると思います。ぜひあがへて参拝してください。

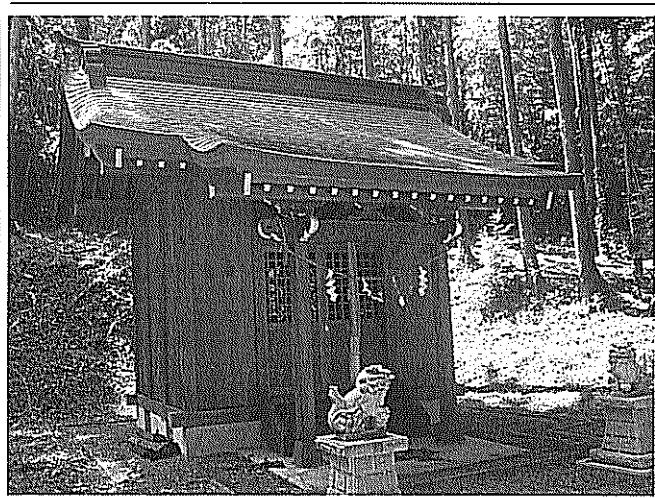


富山小9子供55の力作234

第四回町会紹介

外部田町会

外部田の町会は旧加茂村の一一番北端にある二戸戸の小部落です。外部田の昭和の大改革はなんどいつても農業基盤の総合整備を図った土地改良区を中心としての事業とその完成によるものです。町会貢あげての賛成のもとに國家の補助と各個人の支出によって現在の環境が生まれました。農地、農道、集落、農機械等の導入、休養センターの設置は外部田町会すべての「心の和」によ



牛久方面に向かい、薬師堂前三十メートル程の山上にあるのが先に述べた「山主大権現」です。県道が石段がありその島居が見えると思います。ぜひあがいて参拝してみてください。

す外部田の坂上(講堂ガントリ)の入り口の反対側の山上にあります。永禄七年河内郷(幸田郷)と書われた頃に作られたもので、現在は彼の墓となりていますが、「鶴口」は研金長が保管している重要な歴史的な物

外部田の時、必ず足跡を入れると今まで迷ったことが過去の外部田を知るひとほど強く感じられる」とだと思いま。

導入との活用、外部田園自治会館の建設、落成へと進みました。元からの住民、新しく入ってきた人々、全員の協力が練集となつたのです。更にこの気持ちは草成八年の『外部田山主夫館』の再建へとつながりました。

るものでした。かつての暗い姿と車も入らなかつた不運さがなくなり、明るさと活気ある町会になりました。これは昭和六〇年を境とした大変化でした。

市原市役所は震災による津波などで大きな被害を受けた富城県名取市から雇職員の派遣要請を受け、職員を公募しました。手を挙げた10～50代の男性職員の中から10人を5人ずつの2班に分け、それぞれ約1ヶ月の期間で難災証明書発行などの業務のために派遣しました。畢山通信では、五月の1ヶ月間現地で職務にあたった市役所広報課の土藤祐一さんに現地の様子を伺いました。

中興貢慶文書

「やれば出来るよ」の文字あり!!

町中に活気がありつた様子ですが（今後も各自经济体による繰続した支援が必要と感じています）と藤谷さんは話してくれました。六月から奈良代として市職員五人を派遣。六月二七日には佐久間町長も名取市に赴き、職員の慰問と名取市に対する義捐金目録の贈呈を行いました。

名取市は仙台尾瀬がある市で、死着行方不明者は千人を超えていました。空港ははじめライフラインは復旧し、仮設住宅の建設が進んでいますが、依然として避難所生活を送る被災者も多くの状況です。工藤さんを含めた市原市の職員五名は、五月五日に副市長・総務部長とともに現地に入り、「あるべき建物が無くなり、土砂やがれつき・車が山積みにされた」光景にまきショックを受けたそうです。

に大きな差が生じるので強く責任を感じた。そうです。津波被害を受けた建物はヘドロが入り、住むのは困難にみえるが区分上の規定では金銭にならないため、認定に対する不満の声も多くの聞いたそうです。しかしたゞ調査結果に不服があつても、市原市の名札を見て「ねざわ



えられ、故この
森が松尾山と呼ば
れるようになつた
とも云われていま
す。

地図上は加茂山
松尾山は島のよ
うに周囲から獨立した丘陵部として発達しているため
植生は開闊的な形態をしていています。北面には杉や
銀杏の巨木 栗・クヌギ等の落葉広葉樹ヒラカシ・ヒ
イラギ等の常緑広葉樹が混生しており、南面にはタブノ
キ・ウラジロガシ等が育成してゐる特徴から、森全体が県
の天然記念物となつてゐます。

高麗神社の山もあり、通称松尾山と言います。これは様々な説があるのですが、約一〇〇〇年前の森に夜半奇跡ものが現れて村人が不由謙意に登つてみると、一人の天女が現れ「この山に雷男神（まつおがみ）が鎮座すれば永く國を守るであらう」とのお告げを受け、雷男神の鎮まる森として信仰されてきたと伝えられています。この雷男神とは京都の松尾大社の祭神です。又現在森の山頂に奥宮が鎮座します。

なし。赤城山の彼の好みの女性は「ほつきものさう人」だそうで、周りの女性の人は嫁さん大募集の中の彼にバンバン言つてあげてほしい。彼の里山に対する恩いは深く、古敷谷の中の休耕田を愛い、里山活動のこれからに関するもすべては後継者問題にかかっていると話す。彼の子供たちへの優しい視線はそのまま彼の性格をよく表している。地元の里山を「よなく愛する好漢である。

皆さんが電車や車で移動中に、田園やビルや住宅が建ち並んでいる中に小さな森がある場所を見かける事があります。神社の森は護守の森と云い、古来より神々が降臨し鎮まつた場所として、森自体が信仰の対象として大切にされときました。地鎮祭を行つ時、縁起の神の葉を中央に立てて、その見かけ大事があると思ひますが、「これは神籬(ひめいき)」と書いて、神の神をお招きして祭典を執り行つのです。社殿で参拝する際に神主さんより渡される玉串(しめくわ)の神籬を下さりにしたもので、すなわち神籬や玉串(しめくわ)の難消なのです。

矢代弘一通信員

通信員不在の富山地区に待望の通信員誕生。現在ジャパンクリーンテック(株)に勤め、営業課長代理である。ある日、議員でもある通信員に「無理やうだったのか?」連れて、ふれそのまま通信員となり。四十五歳。趣味であるパソコンが達者で、現在加賀山通信の新しいホームページ立ち上げのために奮闘中。「これがやりてみたい」と思っています。

泰山

日本人は森の中に神が宿ると言ふ、その中に社殿を建てて大切にしてきました。神社へ参拝すると清々しい気持ちになるのは森 자체が神である事から森の神籠を頂くことにより自身の気が清められるからではないでしょうか。

平陽府志

人と環境が一体となって大切な未来へ 自然環境と人間との調和を目指して

○ 杉田建材株式会社

本 社 市原市田野 26 TEL 0436(96)1311
市原支店 市原市惣社1-1-22 TEL 0436(24)0511
南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111

URL <http://www.sugita-group.com/>

ノランドからの理想の住まい、ホンカログホーム
モデルハウス公開中！

開館時間 10:00~17:00

木製サッシの遮音・断熱効果
床暖房の快適さをご体験ください

EIGENART

www.honka.com
ホンカ房総 大磯工業株式会社 ログホーム事業部

Figure 1. A photograph of the surface of a sample of Fe_3O_4 taken at a distance of 1 m from the sample.

